

令和元年度事業概要

1. 吉備国際大学附属研究所合同シンポジウムが令和元年9月28日吉備国際大学岡山駅前キャンパスで開催された。

文化財総合研究センター 研究員 鈴木英治が「印象派絵画の修復及び科学調査」と題し、絵画の修復状況や科学的見地からの保存計画などについて発表した。

2. 令和元年10月8日、文化財総合研究センターにおいて、吉備未来塾の塾生にセンター長 大原秀行が「美を守る—フェルメールから夢二まで」と題した講義を行った。

3. 令和元年11月23日、姫路市立美術館「ストラスブール美術館」展におけるシンポジウム「フランス近代美術絵画の修復をめぐって」にて、文化財総合研究センター センター長 大原秀行、研究員 鈴木英治が登壇した。